

## ○ 2014 (H26) 年頭あいさつ文 ○

新年 あけまして おめでとうございます。

今年も「健康」であり、「住まい」づくりを通し皆さまの「ご依頼」にお応えしていきたくと思います。そして、業務・社会活動においても「温故知新」。社会的なひとりとして貢献して行きたいと考えます。

“初”の日に想う

### ● (俯瞰的に観た家づくり業界)

昨年の「消費税増税 宣言」以来、塗装工事や足場工事が増税前の「駆け込み」でしょうか、3月まで手も足も出ぬほどの工事量との事。また「ビルダー、建売業者」にあつては「こんな土地に家を？」と思える所に「住宅」をバンバン作っています。家をとにかく作って売るのが商売の方々にあつては、誠に正道な方法なのでしょうが、いかがなものかと思う次第です。こんな状況の中で、「地域」を中心に生業とする私どもとしては、この流れに迎合すること無く、進んでまいりたいと思います。

### ● (住まいは社会との窓口)

様々な所・業界で「地域」という言葉が使われます。「地域社会」とはどう受け止められますか。そこには「私自身の生活」があり、「住まい」は、「生活の場・自己開放の場・やすらぎの場」です。しかし住まいを協同社会の窓口と考えた場合、皆が共に暮らす為は何らかの義務（それは時間か金銭かもしれません。）を果たす必要があると考えます。「住まいを構える事」は「社会とつながりを持つ事」（会社ではないですよ）と感じています。それだけ住まいを持つ事は、個人が「大人」であり・「市民」である事の証ではないでしょうか。

### ● (指田の家づくり)

生活の基盤を表した言葉に「衣食住」があります。この言葉、普段の生活に置いてどの様に優先順位をつけますか。当社の役割は「家づくり」を通し、皆さまの生活の「質」を改善する事ですが、第一は「食」、第二に「衣」、そして最後に「住」でしょうね。「食」は健康のパロメーターですが、食欲を増進するには「住」も関わっていますね。「衣」は、外に向けてのファッション性もさることながら、（冬場を想像してみてください）体温を保つための防寒着（言い換えると宇宙服）とも言えます。そして「住」。これら要素を一回り外側で包含する重要な要素と言えるのだと思います。

当社の様な（地元？）「工務店」にどんなイメージを抱いていますか？

「工務店では、今までと同じものしか造れない。」「ビルダーやメーカーに依頼した方が間違いない。」「余り勉強せず、話も良く聞いてくれない」とか。

「当らずとも遠からじ」かもしれませんが、中には先進性を兼ね備えて工務店も存在するのです。現在は誠に「情報過多」であり、多すぎて信義性もはっきりしない時代です。

ではどうするか。やはり人と人・Face to Face を通じ会話・確認する作業が重要になっているのではないのでしょうか。このようなことも含めながら、これからも、地域に根ざしつつ、ご要望にお応えする新しさを兼ね備えた工務店として進んでまいります。

どうぞ、よろしく願い致します。有難うございました。

